

自然だいま

という気持ち、
どうしたら形にあらわせるだろう？

第 8 回

自然観察インストラクター養成講座

1997. 9. 3 ~ 1998. 3. 15



【主催】

(社) 大阪自然環境保全協会

531 大阪市北区豊崎2丁目4-5
岸本ビル2F

TEL 06-374-3376

【後援】

大阪府
大阪府教育委員会

(社会福祉法人)
朝日新聞大阪厚生文化専

「自然観察インストラクター」ってどんな人？

あなたは「自然観察インストラクター」と聞いてどんな人をイメージしますか？
植物の名前をたくさん知っている人？ いろいろな鳥の習性について説明できる人？
たしかに自然についてのさまざまな知識は持っている方がいいでしょう。でもそれだけが大事なことでしょうか。

私たちの考える自然観察インストラクターとは「自然の感動を伝える人」です。ただ何気なく歩いている普段の道も、よく観ると生き物の不思議な営みでいっぱい。それを見つけてすごいなと感動できる、それがインストラクターの第一歩です。

そして、その感動を自分一人の中にとどめておくのではなく、他の人と共に分かち合う、そのことでその感動は大きな輪となり広がっていくことでしょう。その輪が、「身近な自然の大切さ」を実感させ、それを守ろうという力になることを私たちは信じています。

自然観察インストラクターとは、そんな広がりを生み出すためのリーダーとして活躍していく人です。

<講座内容と日程>

- * 講座は前半が講義と実習、後半は受講生自身によって公開観察会を開きます。
- * 平日の室内講義の時間は6:30-8:30PMで、会場は梅田の北市民教養ルームを予定しています。野外講座の集合、宿泊などの詳細については後日お知らせします。

<前期日程>

回	月・日・曜	会場 / テーマ	講師
1	9月3日(水)	室内 「オリエンテーション」	本多 俊之
2	9月6日(土) ~7日(日)	宿泊研修 「自然観察入門」 枚岡公園	菅井 啓之 講座スタッフ
3	9月11日(木)	室内 「自然の見方」	菅井 啓之
4	9月24日(水)	室内 「大阪の人と自然の関わり」	木下 陸男
5	9月28日(日)	堺・鉢ヶ峯 「里山を歩いてみよう」	酒井 和子
6	10月15日(水)	室内 「生態学入門 ①」	佐藤 治雄
7	10月19日(日)	奈良公園 「生態学入門 ②」	佐藤 治雄
8	10月25~11月3日	府下各地 「どんぐりまつりスタッフ体験」	各地域グループ
9	11月12日(水)	室内 「どんぐりまつりのまとめ」	講座スタッフ
10	11月16日(日)	千里中央公園 7期生観察会「秋の自然を楽しもう」 「観察会の企画と運営」	そよごの会 高畠耕一郎
11	11月23日(祝) ~24日(月)	宿泊研修 「体験学習入門」「自分の自然を見つける」 服部緑地公園 「ミニ観察会をやってみよう」	松木 正 講座スタッフ

8回目 どんぐりまつりは、府下各地で10月25日から11月3日にかけて開催されるのもので、その内のどこか一カ所に参加します。

修了生の声

私にとってこの講座はこれまで漠然と感じていた環境問題や、自然と人間の関わりをより深く考え、行動を起こす突破口のようなものでした。もとより自然関係に疎い私は、今でも名前の知らない生き物がたくさんあります。でも、そんなに詳しい知識はいりません。それよりも感動する心を持ち、一緒に感動してくれる仲間を見つけ、増やしていく活動なんじゃないでしょうか。

6期 40代 男性

「自然についていろいろ教えてくれるのだろう」という気持ちで受講した私はすぐに自分の思い違いに気がついた。受講して一番大変だったのは、様々な自然観をもつ人とどうやって共通の自然を分かち合うか、という問題だった。なにしろ講座の最後には自分たちで公開観察会を開くのだから。自分達が伝えたい自然とは何か、それをどうやって伝えるか。この講座は「受講する」のではなく、「参加する」講座だ。 6期 20代 女性

今まで私は京都の北山杉や公園のポプラ並木を見て、緑っていいな、自然は大切だな、と思っていました。しかし講座を受けて「私たちはそのなかで雑木林が一番大事だと思う」という気持ちがすごく強くなりました。そして、その理由をきちんと伝えていけるリーダーになりたいと今は思っています。

1期 50代 女性

<講師>

本多 俊之	(社) 大阪自然環境保全協会事務局長
菅井 啓之	大阪教育大学附属池田小学校教諭
木下 陸男	(社) 大阪自然環境保全協会副会長
酒井 和子	(社) 大阪自然環境保全協会理事・堺自然観察会
佐藤 治雄	大阪府立大学農学部植物生態学
そよごの会	自然観察インストラクター養成講座修了生の会
高畠耕一郎	(社) 大阪自然環境保全協会理事・吹田自然観察会
松木 正	マザーアースエデュケーション主宰
長尾 文雄	聖マーガレット生涯教育研究所主任研究員
布谷 知夫	滋賀県立琵琶湖博物館総括学芸員

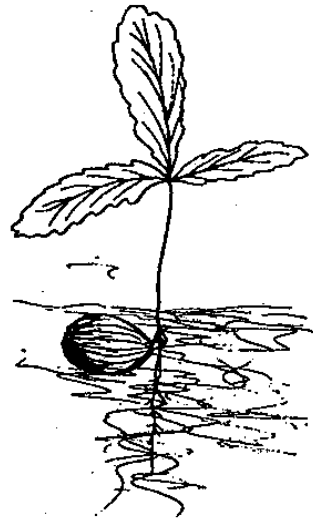
<後期日程>

回	月・日・曜	会場 / テーマ	講師
12	12月3日(水)	室内 「始めよう自分たちの観察会」	長尾、松木
13	12月7日(日)	野外 公開観察会フィールド下見 ①	
14	1月14日(水)	室内 公開観察会企画会議 ①	
15	1月18日(日)	野外 「観察テーマと自然保護について」	布谷 知夫
16	2月15日(日)	野外 公開観察会フィールド下見 ②	
17	2月18日(水)	室内 公開観察会企画会議 ②	
18	3月1日(日)	豊中・服部緑地公園 公開観察会 ①	
19	3月8日(日)	河内長野・烏帽子形公園 公開観察会 ②	
20	3月15日(日)	室内 修了式	講座スタッフ

<この講座を修了すると...>

この講座を修了された方には、当協会の主催・後援する自然観察会や調査活動、修了者が自主的に行う観察会のリーダー・スタッフとして活動の場が広がっています。

また、(社)大阪自然環境保全協会に自然観察インストラクターとして登録されます。



<参加費用> 保全協会会員 28,000円
非会員 31,000円
教材費、保険料、宿泊研修費を含む。
ただし宿泊研修時に若干の食費が別途必要です。
(差額3,000円は当協会の協力会員会費に充当されます。)

<定員> 30人(定員を超えた場合、申込〆切後に抽選となります。)

<参加資格> 18歳以上で次の条件を満たされる方
1 身近な自然を守るために何かやりたいと考えていること。
2 原則としてすべてのプログラムに参加できること。

<申込方法> ハガキに氏名、性別、生年月日、住所、電話番号を記入し、
8月6日(必着)迄に下記へお送り下さい。

<申し込み・問合せ先>

〒531 大阪市北区豊崎2-4-5 岸本ビル2F
(社)大阪自然環境保全協会 インストラクター養成講座係
TEL 06-374-3376 FAX 06-374-0608

社団法人 大阪自然環境保全協会

大阪南港に野鳥公園をつくる運動を推進した市民が中心となって1976年に設立された公益法人NPO(非営利団体)です。身近な自然を守り育てたいと願う市民が運営しています。会員は約1500名で、会長を含む20名の理事が中心になり、正会員で構成する総会を最高決議機関として運営されています。大阪を中心に近畿全体で自然保護活動および啓発活動を行っています。運営資金は会費と寄付、及び自然保護事業の収入によってまかなわれています。